愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	社会		
担当者(Instructors)	白井 克尚	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

小学校現場において実務経験がある教員が、現場経験を踏まえたアドバイスを行うことにより、小学校社会科授業づくりに関する理解を深める。授業では、小学校社会科の目的と教育内容についての基礎的理解を深め、教材研究の進め方についての方法論の基礎を習得することをめざしている。授業計画は、自分の中にある小学校社会科のイメージを問い直すことから、各学年の目的と教育内容の検討を行い、小学校社会科学習の教材研究を実践的に行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の方法は、小学校社会科学習の目的と教育内容について、ディスカッションやディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワークを用いた討議や話し合いを通じて検討する演習方式でおこなう。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業のオリエンテーション　－小学校社会科学習のイメージ－	社会の授業計画と全体像についての説明を行う。	□
第2回	第３学年　社会科地域学習の目的と内容　－身近な地域や市（区、町、村）－	第３学年　社会科地域学習における身近な地域や市（区、町、村）に関する学習活動を行う。	□
第3回	第３学年　社会科地域学習の目的と内容　－生産や販売－	第３学年　社会科地域学習における生産や販売に関する学習活動を行う。	□
第4回	第４学年　社会科地域学習の目的と内容　－飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理－	第４学年　社会科地域学習における飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理に関する学習活動を行う。	□
第5回	第４学年　社会科地域学習の目的と内容　－県（都、道、府）の様子－	第４学年　社会科地域学習における県（都、道、府）の様子に関する学習活動を行う。	□
第6回	第５学年　社会科国土学習の目的と内容	第５学年　社会科国土学習に関する学習活動を行う。	□
第7回	第５学年　社会科産業学習の目的と内容	第５学年　社会科産業学習に関する学習活動を行う。	□
第8回	第６学年　社会科歴史学習の目的と内容	第６学年　社会科歴史学習に関する学習活動を行う。	□
第9回	第６学年　社会科政治学習の目的と内容	第６学年　社会科政治学習に関する学習活動を行う。	□
第10回	第６学年　社会科国際理解学習の目的と内容	第６学年　社会科国際理解学習に関する学習活動を行う。	□
第11回	社会科地域学習内容への地理学的アプローチ	社会科地域学習内容への地理学的アプローチに基づいた、研究実践を行う。	□
第12回	社会科地域学習内容への歴史学的アプローチ	社会科地域学習内容への歴史学的アプローチに基づいた、研究実践を行う。	□
第13回	社会科国土・産業学習への地理学的アプローチ	社会科国土・産業学習への地理学的アプローチに基づいた、研究実践を行う。	□
第14回	社会科歴史・政治・国際理解学習内容への歴史学的アプローチ	社会科歴史・政治・国際理解学習内容への歴史学的アプローチに基づいた、研究実践を行う。	□
第15回	授業のまとめ　－小学校社会科の意義について－	社会科に関する研究実践の発表と小学校社会科の意義についてのまとめを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・小学校社会の学習指導要領を読み直す。（２時間程度）　・研究実践の発表準備を計画的に進める。（２時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された授業の振り返りは、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	・小学校社会科の目的と教材内容について説明することができる。 ・毎回の授業の振り返りを通して、課題について考えることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	・小学校社会科の教材研究や授業づくりに関わる課題について、分析することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	・小学校社会科の教材研究や授業づくりに関わる課題について、主体的に考えることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題提出をもって、出席とする。毎回の授業の振り返りから、授業への取り組みの様子を評価する。作成した社会科教材から、授業の理解度について評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	原田智仁編『社会科教育のルネサンスー実践知を求めてー〔第３版〕』教育情報出版,2023年	978-4-90378-15-6
2	文部科学省『小学校学習指導要領＜平成29年告示＞解説　社会編』日本文教出版	978-4536590099
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業において適宜配布する。	
2		
3		
4		
5		